

『ハーモニカの音がした』

4歳児 11月 伏見こども園

子どもの育ちや学び

エピソード

先月の姿からドングリ転がしても音に興味をもち、耳を傾けはじめました。トイで転がすと“コロコロ”と音が鳴っていましたが「コースを変えると音が変わるかもしれない」、波板に変えて転がし始めました。ドングリを1個ずつ転がしていたAくんは「波板に変えると音がよく聞こえるね」とBくんに話しかけました。すると、Bくんは「一気にいっぱい転がすとどんな音がすると思う?」と聞きました。①「どんな音になるんだろう」と周りに尋ねると、Aくんは「ゴロゴロかな?」と考えていました。Bくんは早速たくさんのドングリを一気に転がすと、Aくんは「ザーって音がしたよ」Cくんは「バババババーって聞こえたよ」と、それぞれに聞こえた様子を言葉にして伝え合っていました。Bくんはじっと考えると「ハーモニカみたい」と、友達や保育者に伝えました。②「どんなところがハーモニカみたい?」と尋ねるとBくんは「いろんな音と一緒に鳴るところ」と言い、繰り返したくさんのドングリを転がしました。周りにいた友達もハーモニカの鳴り方を知っていたようで「本当や!」と、共感していました。音の鳴り方を友達と共有できたことを喜び繰り返し遊ぶ姿が見られました。



波板にするとよく聞こえるようになったよ

波板に変えることで、音が変わるかもしれないと考え、変化する様子を楽しみながら遊んでいます。



一気に転がすとどんな音が鳴るかな?

ドングリの量を変えることで、どんな音が鳴るのか予想し、試して遊ぶ姿が見られました。



ハーモニカみたい!

Bくんは、「いろんな音と一緒に鳴るもの=ハーモニカというイメージがありました。音が一度に鳴ることを自分の知っているもの(ハーモニカ)で表現し友達に伝え、一緒に確かめる姿がありました。

保育者の思い

- ・予想し、試しながら遊んでほしいと思い、コースを変え音の変化を確認する姿を見守りました。
- ・ドングリの量を変えようとする姿にどのような予想をしているのか尋ねることで、友達の予想を共有できるようにしました。
- ・一人一人の聞こえ方を大切に、友達と伝え合っほしいと思い、受け止めたり、ハーモニカに例える姿に共感したりしました。

家庭だったら・・・

生活や遊びの場で予想をし、試したり確かめたりしている姿がたくさんあります。子ども達ならではの予想に「なるほど」と、感心することもあります。子ども達の考えている姿に耳を傾けてみてください。子どもだからできる面白い予想と出合えるかもしれませんね。

